

## ■イベント実施

**野庭のみらい お手伝いプロジェクト 第1弾**

おうちで眠っている「アートこどもみこし」を飾りませんか？

【野庭のみらい お手伝いプロジェクト】とは...  
アートやデザインの力を使って、長い時間を経たもの・場所の魅力アップをお手伝いする、横浜市のまちづくりプロジェクトです。

- 9月29日(日)秋のふれあい祭りではその第一弾として、アーティストと一緒にちょっと変わった「アートこどもみこし」をつくります。
- 不要になった  
包装紙、フィルム包装紙、ボタン、ビーズ、リボン、レースなど、光を通す素材、キラキラするもの、可愛いもの、面白いと思ったものがございましたら、お祭りの当日、野庭中学校跡地のワークショップのブースまでお持ちください。
- 皆様にお持ちいただいた素材を使って、ワークショップ参加者が「アートこどもみこし」を飾っていきます。  
**ぜひ、ご協力をお願いいたします！**

横浜市にぎわいスポーツ文化局創造都市推進課  
横浜市都市整備局都市デザイン室

一度寝割りを終えた身近な「元何が」を、もう一度、見直すと「何か」になる事を知ってもらい、普段から身の回りの見方を変えてみる事で、「ゆたかないばしょ」は身にあるかもしれません。

**アートみこし  
ワークショップ**  
11月17日(日)  
@ のばマルシェ

- いらなくなったペットボトルに好きなもの(リボンやボタン)をくっつけて、おみこしのかざりをつくろう！つけたいものをもってきてね！
- みんなでデコったおみこしを、みんなでかつごう！
- アンケートにこたえて、キャンドルライトをもらおう！

おみこしのかざりをつくろう  
ワークショップ  
10時から15時  
参加できる人数 先着40人

「わっしょい／おみこしパレード  
ワークショップに参加しなくても、おみこしをかけるよ！  
① 12時30分から ② 14時15分から

使ったモノ  
元酒樽 元学校の体育館の床材  
元ペットボトル 元引きました竹  
の全て横浜市内のモノ

nitehi works 似非

イバしょのイは居心地の「居」、それそれ異なる「異」。相「連」でもあります。居・異・連、を通じて自分の見方(内面を見直す)「場」づくりです。  
これまでの見方を変えて新たな価値を創造する場を、日常の中に探していくます。

ゆたかないばしょ

野庭住宅・野庭園地みらいビジョンお手伝いプロジェクト

**みらいトークin野庭**  
～次の世代につながる「ひと工夫」～

慣れ親しんだ場所を、次の世代につなげるための「ひと工夫」について、一緒に考えていくませんか？  
今日は、喫茶店舗などの活用による場づくり、みどりを軸にしたコミュニティ、色彩アートによる地域の活性化について、先行してチャレンジしている方々が、ヒントになりそうな事例を紹介してくれます。

**2025.3.15 [土] 13:00 -17:00**

場所 野庭地区センター 中・小会議室 3階 (野庭駅前通り612 Tel: 045-848-0110)

定員 30名程度 ※定員を大幅に超えた場合は抽選とさせていただきます

内容 野庭ミニ講座、事例紹介トーク、交流会

主催 横浜市 (都市整備局 都市デザイン室・にぎわいスポーツ文化局 球技部野庭課)

<b>トーク登壇者</b>	<b>場づくり：</b> こすみのANNEX 野田 伸行さん (左) 橋本 三郎さん (右)	<b>価値高まる共用空間：</b> みどりのコモンズ 横濱市立図書館	<b>色彩アート：</b> 壁見パブリックアートプロジェクト 同田 哲人 (左) 伊藤 謙一 (右)
---------------	---	---------------------------------------	---

申込方法  
右の二次元コードでHPへアクセスし「お知らせ」から申込み下さい  
HPアドレス  
[www.hiroba.yokohama/talk.html](http://www.hiroba.yokohama/talk.html)

お申込期限  
1月27日(日)～2月28日(金)

お問合せ先  
都市整備局 都市デザイン室  
045-671-2023  
担当 伊藤、連藤

問い合わせ  
にぎわいスポーツ文化局 球技部野庭課  
045-671-3868 1月18日㈪

「時間開催」幼稚～中学生自作のアートワークショップ 参加募集

「ゆたかないばしょ」過るアトラウンド似て非works  
**ECO★デコワークショップ**

場所 野庭地区センター 工芸室  
定員 50名(当日先着)

●アッパサイクルがテーマのアートワークショップです。  
●捨てるはずだった木(木の板、廻材)たちに家で眠る不要になったモノ(布、ボタン等、木の枝など)でアートプロジェクトとしてオリジナルのメイドイン野庭オブジェを作ります。

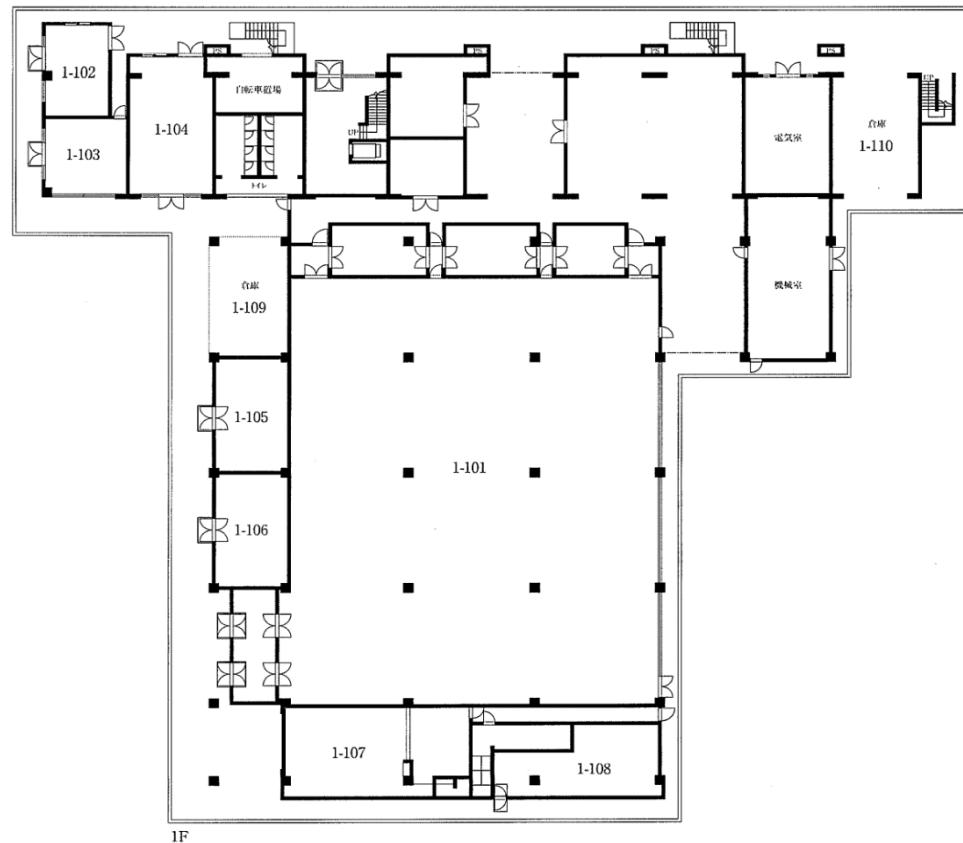
●作成したオブジェはお持ち帰りいただけます。

問い合わせ  
にぎわいスポーツ文化局 球技部野庭課  
045-671-3868 1月18日㈪

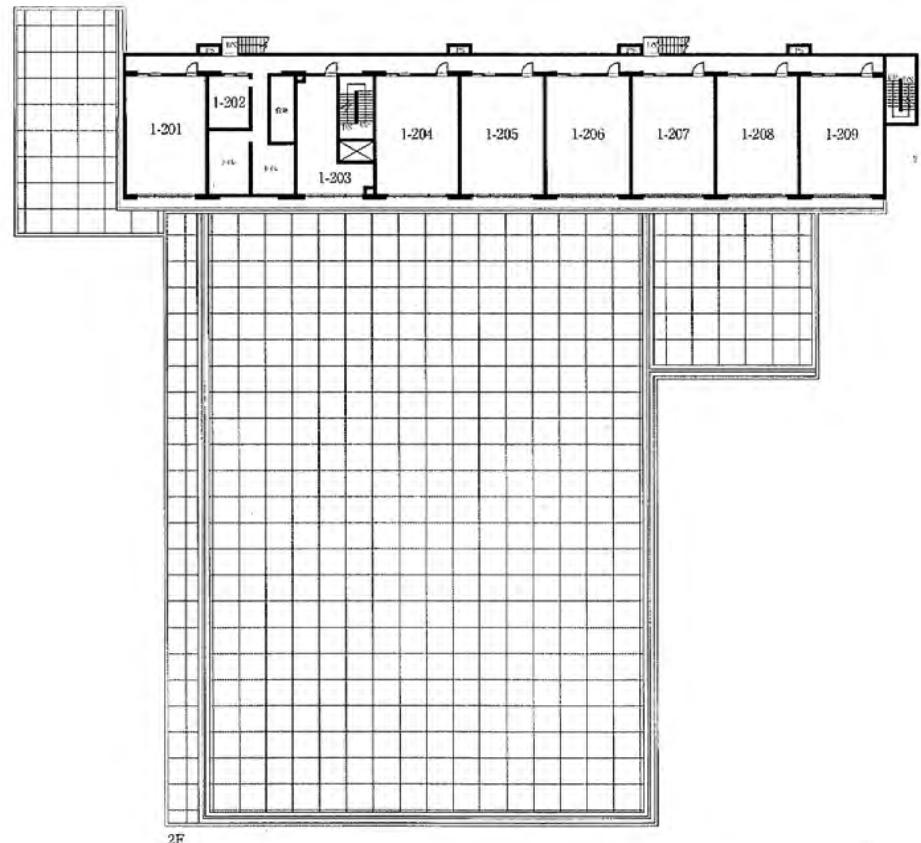


## 別添資料2

# 野庭団地センター 1号棟



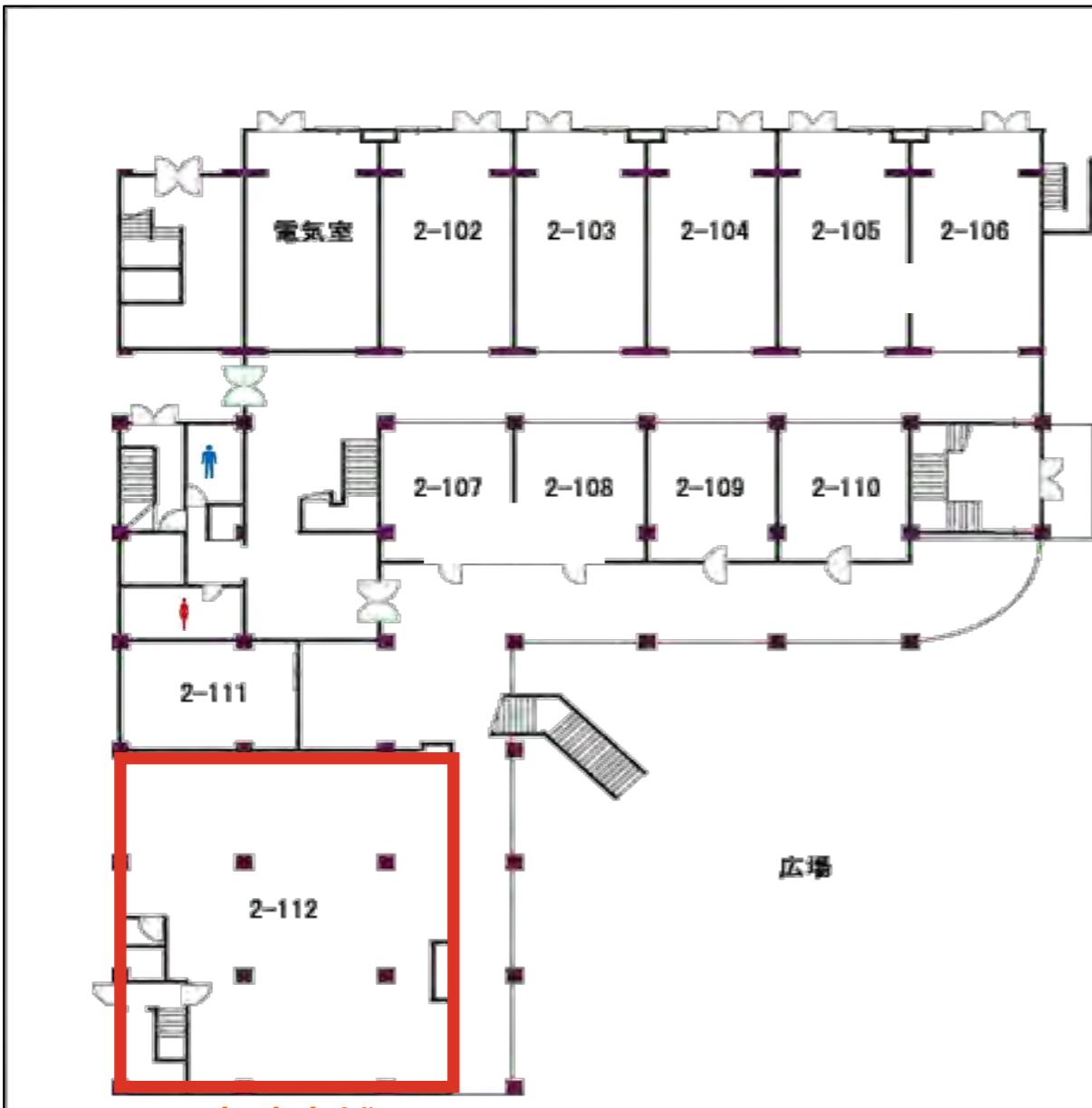
1F



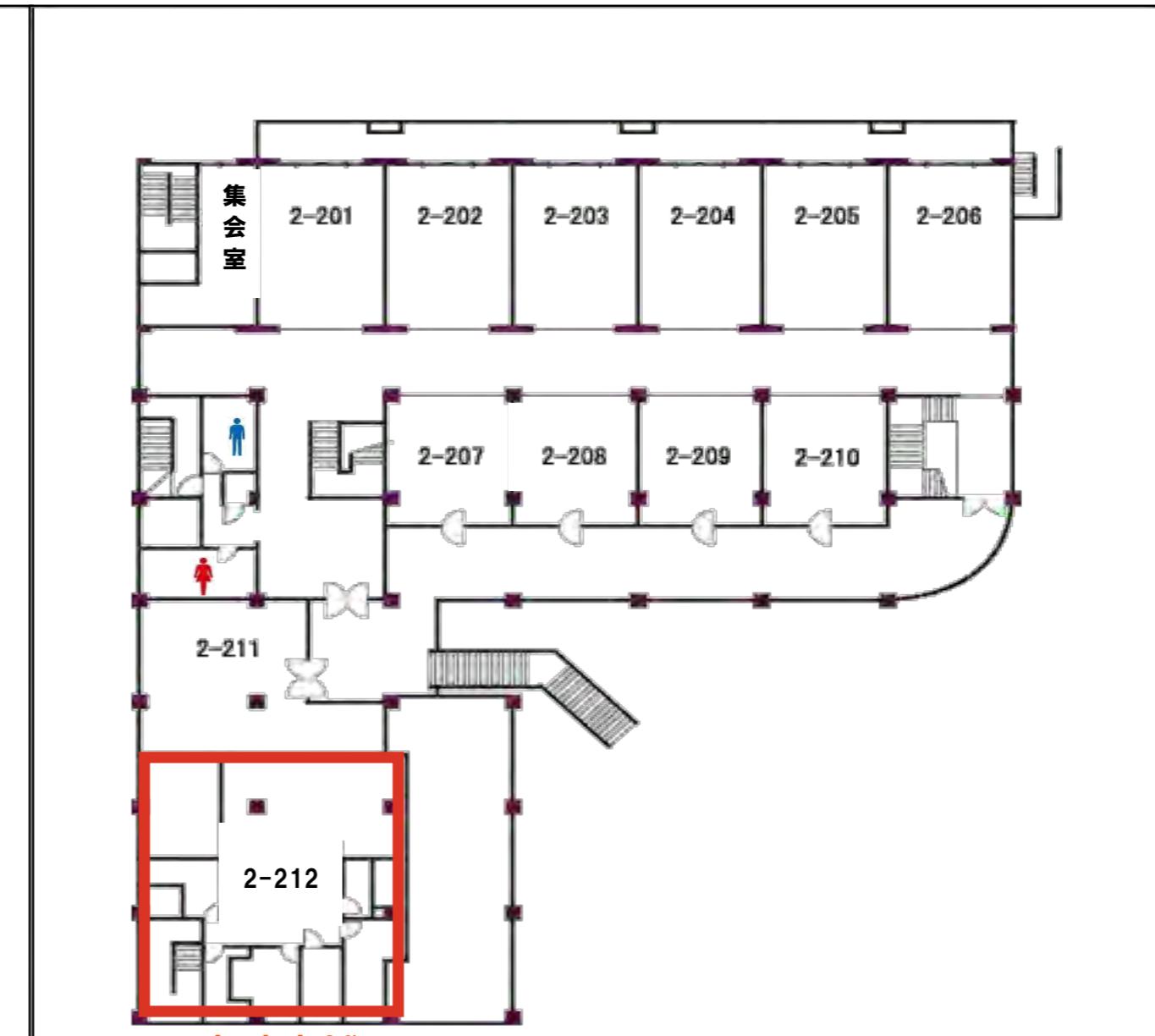
2F

## 野庭団地センター 2号棟平面図

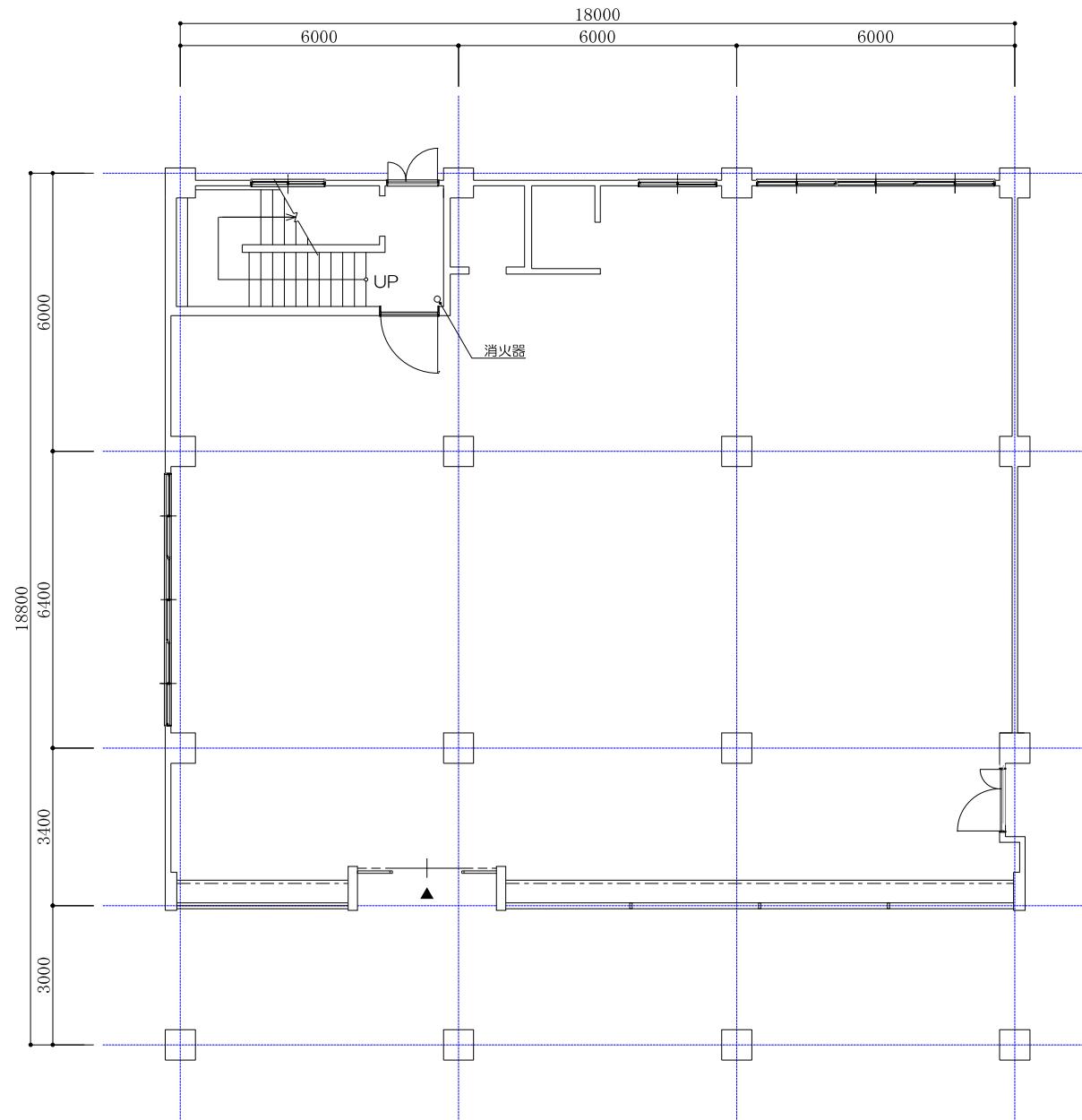
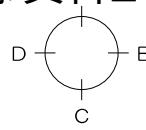
1F



2F

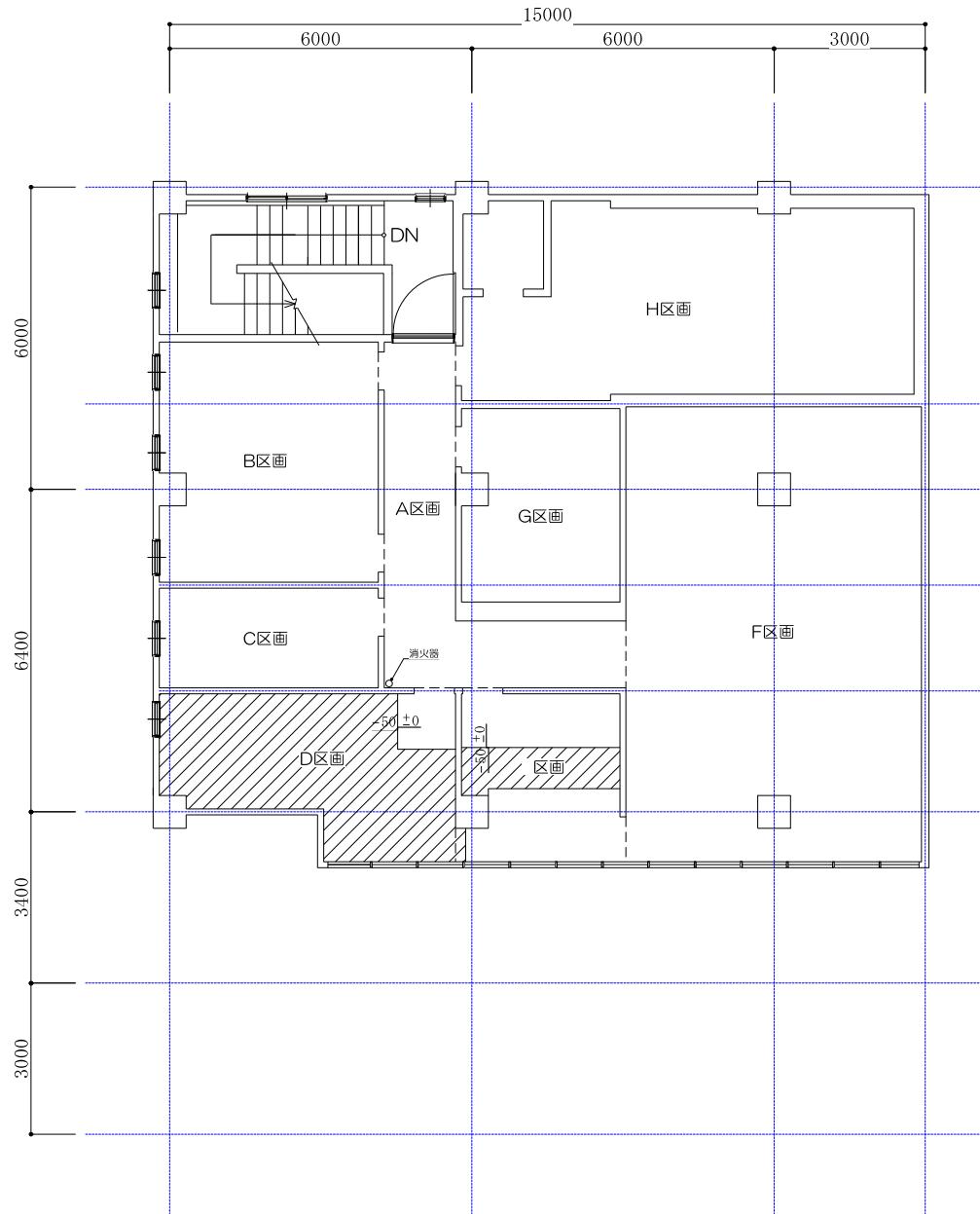
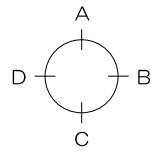


別添資料2



訂		特	実際と図面との相違が多少あります。現況優先				担当	作成		図番
正		記			図名	1階平面図	作図	縮尺	1/100	

## 別添資料2



訂正	特記	実際と図面との相違が多少あります。現況優先		図名	2階平面図	担当者	作成者	縮尺	1/100	図番
----	----	-----------------------	--	----	-------	-----	-----	----	-------	----

CITY OF YOKOHAMA

# 新たな都市デザインあり方検討 (審議)

都市整備局 都市デザイン室

2024. 1. 26 都市美対策審議会 政策検討部会

明日をひらく都市  
OPEN X PIONEER

## 本日の説明内容

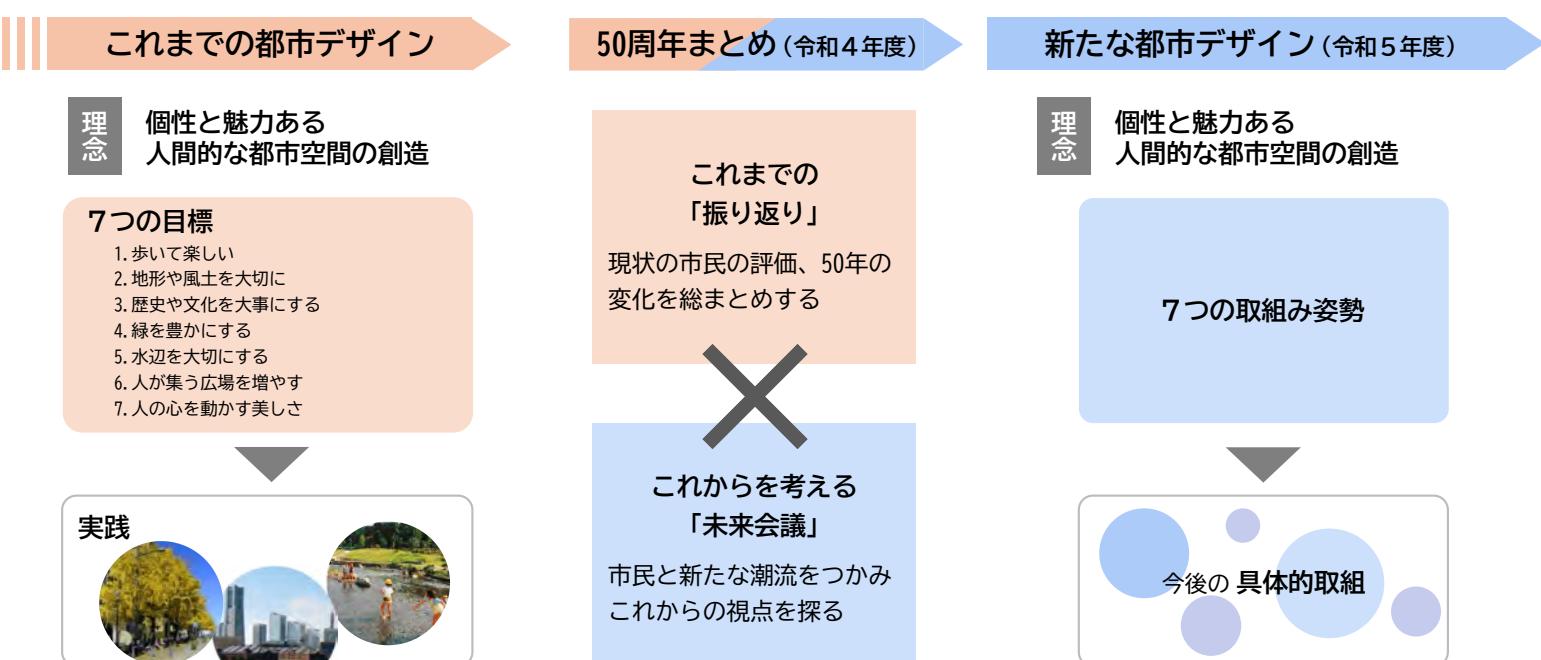
明日をひらく都市  
OPEN X PIONEER  
YOKOHAMA

検討の全体像	<ul style="list-style-type: none"><li>新たな都市デザインあり方検討の全体像</li></ul>
新たな都市デザイン	<ul style="list-style-type: none"><li>新たな都市デザイン</li><li>7つの取組み姿勢とは</li><li>各取組み姿勢について</li></ul>
具体的な取組みについて	<ul style="list-style-type: none"><li>今後の具体的な取組みの展開</li><li>テーマ1：住宅地から「多様なライフスタイルをかなえるまち」へ</li><li>テーマ2：都心部での継続的・発展的な展開</li><li>テーマ3：海をひらく</li></ul>
検討のまとめ方	<ul style="list-style-type: none"><li>検討内容の発信</li><li>都市マスへの位置付け</li><li>スケジュール</li></ul>

## 本日の説明内容

検討の全体像	・ 新たな都市デザインあり方検討の全体像
新たな都市デザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新たな都市デザイン</li> <li>・ 7つの取組み姿勢とは</li> <li>・ 各取組み姿勢について</li> </ul>
具体的な取組みについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後の具体的な取組みの展開</li> <li>・ テーマ1：住宅地から「多様なライフスタイルをかなえるまち」へ</li> <li>・ テーマ2：都心部での継続的・発展的な展開</li> <li>・ テーマ3：海をひらく</li> </ul>
検討のまとめ方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検討内容の発信</li> <li>・ 都市マスへの位置付け</li> <li>・ スケジュール</li> </ul>

## 新たな都市デザインあり方検討の全体像



## 本日の説明内容

検討の全体像	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな都市デザインあり方検討の全体像</li> </ul>
新たな都市デザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな都市デザイン</li> <li>7つの取組み姿勢とは</li> <li>各取組み姿勢について</li> </ul>
具体的な取組みについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の具体的な取組みの展開</li> <li>テーマ1：住宅地から「多様なライフスタイルをかなえるまち」へ</li> <li>テーマ2：都心部での継続的・発展的な展開</li> <li>テーマ3：海をひらく</li> </ul>
検討のまとめ方	<ul style="list-style-type: none"> <li>検討内容の発信</li> <li>都市マスへの位置付け</li> <li>スケジュール</li> </ul>

## 新たな都市デザイン

## 『個性と魅力ある人間的な都市空間の創造』

⇒横浜の都市デザインそのものとして継承。「人間的」には**多様化した価値観**への対応も意識する

個性と魅力ある人間的な都市空間によって

- 都市の価値を高める
- そこで出会い、ふれ合う人々のまちへの愛着や誇り（シビックプライド）を育み、引き継ぐ
- 地域のアイデンティティを磨き市内各地の魅力的な暮らしの選択肢を増やす

→個々人の**自分らしい暮らし**にフォーカスし、都心部の取組みを継続させつつ**都心近郊・郊外への展開**を進める

1. 自然や歴史、地域の個性を未来に引き継ぐ
2. **その人らしくいられることや**個々人のあり方や、暮らしに寄り添う
3. 様々な主体や分野を横つなぎにして、まちの魅力を高める
4. 地域の主体性や創造性が發揮できるよう、環境を整える
5. 実験的な新しい取組みを、積極的にすすめ、サポートする
6. エリアコンセプトを描き、共有する
7. 美しい、楽しいといった人の心を動かす都市をつくる

令和4年度 未来会議より

## 社会背景

- ①生物多様性・循環型社会・自然との共生への対応
- ②防災・減災・レジリエンス、気候変動への対応
- ③少子高齢化社会のケア、**子育て・子育ち\***など別領域との連携
- ④**価値観の多様化**をふまえた新たなコミュニティの創造
- ⑤新たな暮らし方に応じた身近な生活圏のデザイン

### 7つの取組み姿勢について

横浜市はあらゆる主体と共に都市デザインに取り組みます。

#### これからの 7つの取組み姿勢

これからも  
大事にする  
価値、目標

多様化への  
対応

大にすること  
価値観や  
進め方

最終的な  
到達目標

1. 自然や歴史、地域の個性を未来に引き継ぐ
2. その人らしくいられることや個々人の暮らしに寄り添う
3. 様々な主体や分野を横つなぎにして、まちの魅力を高める
4. 地域の主体性や創造性が発揮できるよう、環境を整える
5. 実験的な新しい取組みを、積極的にすすめ、サポートする
6. エリアコンセプトを描き、共有する
7. 美しい、楽しいといった人の心を動かす都市をつくる

#### これまでの 7つの目標

1. 歩行者活動を擁護し、安全で快適な歩行者空間を確保する
2. 地域の植生や地形など、自然的特徴を大切にする
3. 地域の歴史的・文化的資産を大切にする
4. オープンスペースや緑を豊かにする
5. 海、川などの水辺空間を大切にする
6. 人と人がふれあえる場、コミュニケーションの場を増やす
7. 形態的、視覚的美しさを求める



### 各取組み姿勢について



#### 自然や歴史、 地域の個性を未来に引き継ぐ

自然的な特徴や、培ってきた歴史・文化、まちづくりの経緯など、「**地域の個性**」に着眼し、その価値を高めることで、未来に引き継いでいきます。



#### その人らしくいられることや 個々人の暮らしに寄り添う

人それぞれに違う価値観や、様々なライフステージに合わせて自分らしい暮らしが送れるよう、**子育てやケア、働き方や移動のしやすさ**などについて、都市空間を通じて支えています。



### 各取組み姿勢について



#### 様々な主体や分野を横つなぎにして、まちの魅力を高める

異なる領域や主体間を**長期的・広域的・包摶的な視点**を持って横断的にコーディネートし、連携を促すことで、まちの魅力を高める「触媒」としての役目を果たしていきます。



3



#### 地域の主体性や創造性が発揮できるよう環境を整える

ひろばや緑地、農地のような**公共的な空間**に参加しやすい環境、仕組み、制度を整えます。**地域の主体性や創造性を十分に発揮**できるようにすることで、特徴ある地域づくりや、多様な魅力につなげていきます。



(画像)横浜市HP

4

9

### 各取組み姿勢について



#### 実験的な新しい取組みを積極的にすすめ、サポートする

新しい技術や制度の実験的活用など、挑戦を伴う取り組みに積極的に関わることで、これまでにない都市の魅力づくりをすすめます。あわせて、地球環境やケア、新しいモビリティなど社会背景や課題解決策にも先駆的に取り組み、横浜らしい進取の気質を大事にしています。



(画像)国土交通省HP



#### エリアコンセプトを描き、共有する

エリアの持つ可能性や大切な価値に基づき、**目指す未来像**としてエリアコンセプトを描きます。これにより、コミュニケーションとその先の連携を促します。



2023年2月

5

10

### 各取組み姿勢について



美しい、楽しいといった  
人の心を動かす都市をつくる

歩きながら体験する都市の美しさや楽しさ、居心地の良さといった、人の心や情緒に響く、豊かな都市を目指していきます。ここにしかない風景や文化を生み出すことで、住みたい、訪れたいといった気持ちやシビックプライドを育みます。

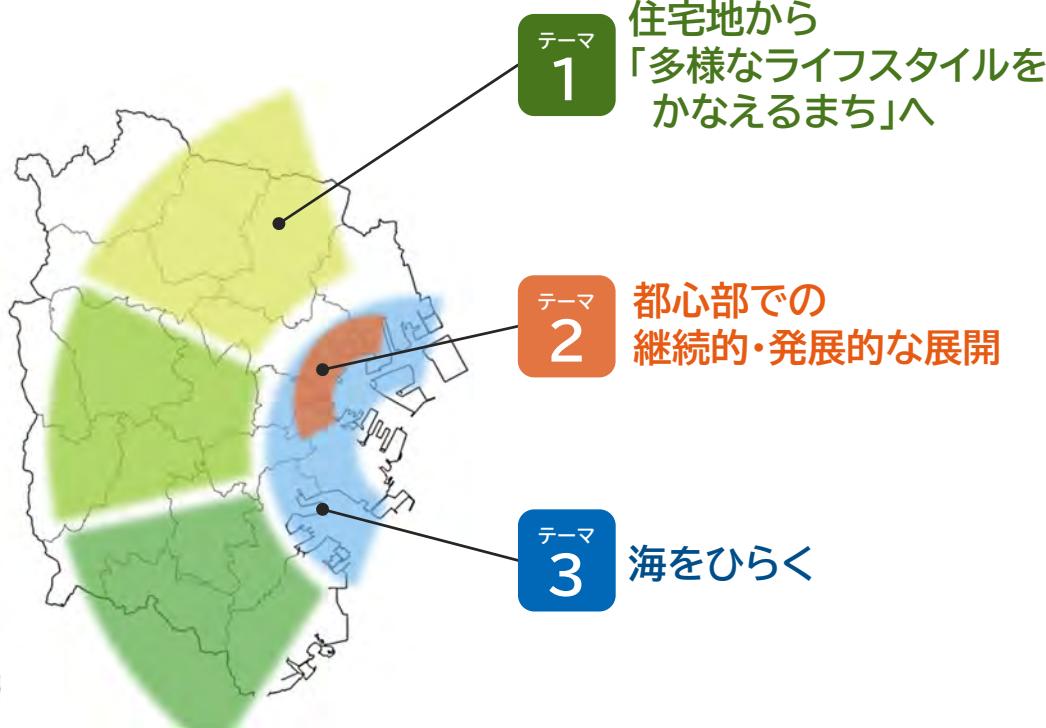


撮影／森 日出夫(3枚とも)

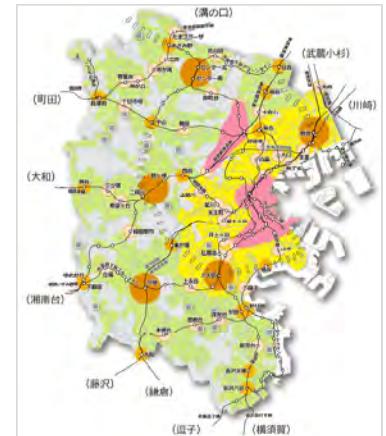
### 本日の説明内容

検討の全体像	<ul style="list-style-type: none"><li>新たな都市デザインあり方検討の全体像</li></ul>
新たな都市デザイン	<ul style="list-style-type: none"><li>新たな都市デザイン</li><li>7つの取組み姿勢とは</li><li>各取組み姿勢について</li></ul>
具体的な取組みについて	<ul style="list-style-type: none"><li>今後の具体的な取組みの展開</li><li>テーマ1：住宅地から「多様なライフスタイルをかなえるまち」へ</li><li>テーマ2：都心部での継続的・発展的な展開</li><li>テーマ3：海をひらく</li></ul>
検討のまとめ方	<ul style="list-style-type: none"><li>検討内容の発信</li><li>都市マスへの位置付け</li><li>スケジュール</li></ul>

## 今後の具体的取組みの展開



都市計画マスター・プランの改定の基本的考え方  
について（答申）より【暮らしの方針図】



13

**テーマ  
1**

### 住宅地から「多様なライフスタイルを支えるまち」へ

多くの市民の“暮らし”を支える郊外住宅地。画一的に開発された地域も、時を経て個性が生まれつつあり、  
価値観が多様化しているこの時宜を捉えて、その地域ならではの「ライフスタイルを支えるまち」を実現していく。

- ◆ 住宅地にひろばやコワーキングスペース、小商いの場所をつくる
- ◆ 水や緑の価値を高め、市民とのタッチポイントを増やす
- ◆ 自立的な、学びや遊びの機会、場所を増やす
- ◆ デザインによって価値を高め、循環型社会につなげる「アップサイクルの  
まちづくり」

#### 機会

- ・空き家、空き地、団地再生
- ・働き方、住まい方の変化
- ・廃校、歴史的建造物の減失
- ・新たな市民活動の盛り上がり

#### 先行事例



14



## テーマ1 展開のイメージ

### ◆ 水や緑の価値を高め、市民とのタッチポイントを増やす

- ・企業との共創などで市民にとって分かりやすく、**価値の高い緑や農、水辺を増やしていく。**
- ・盛んな市民活動や身近な経済活動によって、地域に必要な**居場所や居心地の良さにつなげていく。**
- ・**GREEN×EXPO**を契機にして、自然資本としての緑の価値を再認識し、明日の風景として実現していく。

事例1

テントに泊まり、緑や公園の価値を再認識「inn the PARK」  
(沼津市)



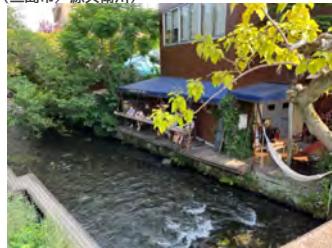
事例2

農や土に触れる生活を取り戻す  
レンタルガーデン「コロニーロット」  
(スウェーデン)



事例3

川からアプローチができる、  
川を楽しむためのカフェ  
(三島市／源兵衛川)



(画像)イエマガHP

15

## テーマ1 展開のイメージ



### ◆ デザインによって価値を高め、循環型社会につなげる「アップサイクルのまちづくり」

- ・歴史的建造物や、空き家、学校などの解体などに伴う古材・廃材を再利用することで、**循環社会、その地域らしさの継承につなげる**
- ・デザインによって付加価値を高め、循環や再利用にとどまらず、**アップサイクルを目指す**
- ・地域の自主性や創造性を高め、DIYやブリコラージュ（あるもので何とかする）による**エリアの価値・個性の向上**を目指す

事例1

廃材を活かして、自分たちの街を自分たちでつくる  
「リビルディングセンター」(米・ポートランド市)



(画像)クーリエ・ジャポンHP

事例2

野毛坂のピンコロ石を地域のみんなで再利用「CASACO」(横浜市)



(画像)横浜市HP

16

## 別添資料3

テーマ  
**2**

### 都心部での継続的・発展的な展開

街の個性である歴史や創造性を生かしたまちづくり、連続する歩行者空間、公共空間の積極的な利活用などをテーマに、これまで都心部で重点的に取組んできた都市デザインを継続していく。

さらに発展的な都市デザインの取組みとして、ウェルビーイングや環境共生などこれからの視点を持ち、横浜市全体をけん引する役割を果たしていく。

- ◆ 新たな景観的価値としての環境共生のまちづくり
- ◆ 誰もが使えるウェルビーイングな場が点在するまちづくり
- ◆ 歴史を生かしたまちづくりの新たな展開
- ◆ エリア間の接続性や、回遊性の改善によるホスピタリティの向上

#### 機会

- ・関内駅前の連続した開発
- ・エリアマネジメントの機運の高まり
- ・環境配慮
- ・情報技術の向上
- ・戦後建築への期待感

#### 先行事例



社会実験「ハマウェル」

#### Plateauタンジブルインターフェイス

画像:国土交通省HP



山下公園通りの歩行者天国社会実験（画像:ヨコハマ経済新聞）



ポートプラス（景観×環境配慮）



防火帯建築（歴史をいかしたまちづくりの新展開）

17

### テーマ2 展開のイメージ



#### ◆ 誰もが使えるウェルビーイングな場が点在するまちづくり

- ・中小企業が集積する既成市街地であっても、心や身体、社会的な健康を支える機能を個々の敷地で少しづつ実現し連携させる。
- ・地域全体でウェルビーイングを向上させ、充実した働き方や住まい方を実現する。
- ・まずは公共的空間のウェルを向上させることに取組む。
- ・街づくりの方向性の一つとして打ち出すことで企業や市民への理解を促し、将来的には公開空地のあり方や誘導用途などによって制度による担保を目指す。

#### 街のウェルネットワークのイメージ

##### カラダの健康の場

屋上で軽い運動ならOK



##### ココロの健康の場

持っているアートを開拓しよう



##### お茶と談笑の場なら提供しよう

##### カンケイを育む場

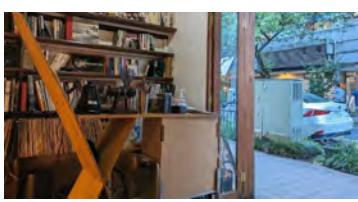


##### ビルのエントランスを皆さん開放しよう



##### ハタラク効率化の場

事例1 ひらかれた拠点が地域の価値を高める「創造界隈」（関内・さくら通り／横浜市）



（画像）ヨコハマ経済新聞

事例2 ウェルを基軸にした新たな価値の創造「グリーンスプリングス」（商業施設／立川市）



事例3 ウェルビーイングな場を街にインストールする活動「ハマウェル」（横浜市）



18

## テーマ2 展開のイメージ



### ◆ 歴史をいかしたまちづくりの新たな展開

- 建造物が伝える横浜の歴史や地域の物語を市民に伝え、歴史的建造物（特に戦後建築）のファンを増やしていく。
- 戦後建築は価値が分かりにくいことから、積極的な改修によって価値を高め、活用を促進するなど、歴史的価値だけでなく、まちづくりや景観の視点で総合的・積極的に評価する。
- 歴史を生かしたまちづくりの新たな展開を打ち出す（横浜市歴史的風致維持向上計画）。
- クラウドファンディングや国費導入などの財源確保や所有者と活用事業者とのマッチング、リノベーションまちづくりなどの、新しい手法を開拓していく。

事例1 戦後建築のファンをふやす（大阪・イケフェスなど）



（画像）日本経済新聞HP



事例2 大胆な改修で活用を促進し、建築の価値を高める

（京都ロームシアター／上野・国際子ども図書館）



（画像）東畠建築事務所HP



（画像）国立国会図書館国際子ども図書館HP

19

## テーマ2 展開のイメージ



### ◆ 新たな景観価値としての環境共生のまちづくり

- 開港以来の歴史性を主軸として展開してきた景観づくり・デザイン調整に木質化や立体的緑化のような「環境との共生」を新たな軸として加える。
- これまでも都市の価値を高めてきた景観形成に、環境配慮の街としての実践的な都市環境づくりを加えることで、新たな都市プランディングにつなげる。

事例1

「30セントメリーアクス」  
(イギリス・ロンドン)

周辺の風環境への配慮  
ダブルスキンによる高い環境性能



（画像）Google ストリートビュー

事例2

「垂直の森」  
(イタリア・ミラノ)

積極的な緑化と日照の最適化が  
新しい風景を生む



（画像）CNN.co.jp HP

事例3

「パワーハウス」  
(ノルウェー)

太陽光発電に効率的なデザインで  
エネルギー・ポジティブなビルを実現



（画像）Solisnor HP

事例4

高層純木造耐火建築物  
「Port Plus ®」(横浜市)

脱炭素への対応がつくる  
新たな景観



20

## 別添資料3

テーマ  
**3**

### 海をひらく

明日をひらく都市  
OPEN X PIONEER  
YOKOHAMA

横浜の大きな魅力資源である海や港などの水辺空間。都心部ではウォーターフロントの軸線として、公共空間や歩行者ネットワークの拡充を図ってきた。

しかし、依然として都心部以外は市民が水辺に近づけないことから、様々な契機を捉えて、市民の様々な活動の場として「海をひらく」ことを考える。

- ◆ 臨海部に立地する企業のアメニティ施設、企業緑地、敷地のシェア
- ◆ 海を持つエリアのコンセプトブック作成・共有し、各事業の結びつき強化や機能誘導を図るエリアプランディング
- ◆ 水際線の歩行者空間を顕在化する新しいルートの設定



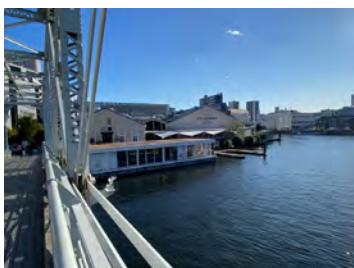
21

### テーマ3 展開のイメージ



#### ◆ 臨海部の産業集積地における新たな魅力創出

- ・ 来街者・就業者・近隣の住民にとっての臨海部の価値を高める。
- ・ 京浜臨海部などの土地利用転換等を契機に、臨海部で企業が持つ水辺空間や、カフェ、緑地といったアメニティをシェアしてもらうなど、地域の価値につなげていく。
- ・ モデル的な取組みとして金沢区臨海部の空間デザインのコンセプトをまとめた。



事例 1

都の運河ルネサンス構想  
と民間活力がかみ合った  
「天王洲アイル」（東京都）



「産業観光」でのブランド向上を目指す  
「京浜臨海部再編整備マスターplan」

22

## テーマ3 展開のイメージ



### ◆ 海をなぞる新たな歩行者ルートの設定

- これまで桜木町駅～石川町駅周辺を範囲とする「開港の道」を設定し水際線を楽しむルートを確保してきた。まちづくりの進捗に合わせて、横浜駅周辺までエリアをまたいだ海をなぞる新しいルートの設定を行う。
- 特に夜間の歩行者空間の安心安全なルートの顕在化を検討する。



23

## 本日の説明内容

明日をひらく都市  
OPEN X PIONEER  
YOKOHAMA

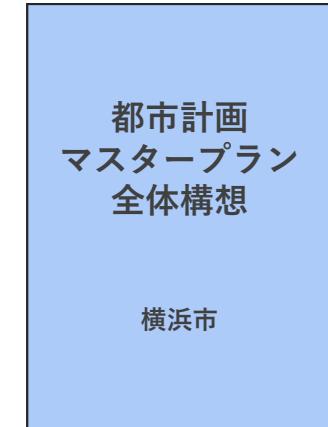
検討の全体像	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな都市デザインあり方検討の全体像</li> </ul>
新たな都市デザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな都市デザイン</li> <li>7つの取組み姿勢とは</li> <li>各取組み姿勢について</li> </ul>
具体的な取組みについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の具体的な取組みの展開</li> <li>テーマ1：住宅地から「多様なライフスタイルをかなえるまち」へ</li> <li>テーマ2：都心部での継続的・発展的な展開</li> <li>テーマ3：海をひらく</li> </ul>
検討のまとめ方	<ul style="list-style-type: none"> <li>検討内容の発信</li> <li>都市マスへの位置付け</li> <li>スケジュール</li> </ul>

24

## 検討内容の発信

明日をひらく都市  
OPEN X PIONEER  
YOKOHAMA

### ● 都市計画マスタープラン



### ● 広報ツール検討

「各局・企業・市民の各分野 × 都市デザイン」を目指す



#### 広報パンフの改訂

新たな都市デザイン  
+  
これまでの取組み

#### 庁内外向け シンポジウム・研究会等 の開催

25

## 都市マスへの位置づけ

明日をひらく都市  
OPEN X PIONEER  
YOKOHAMA

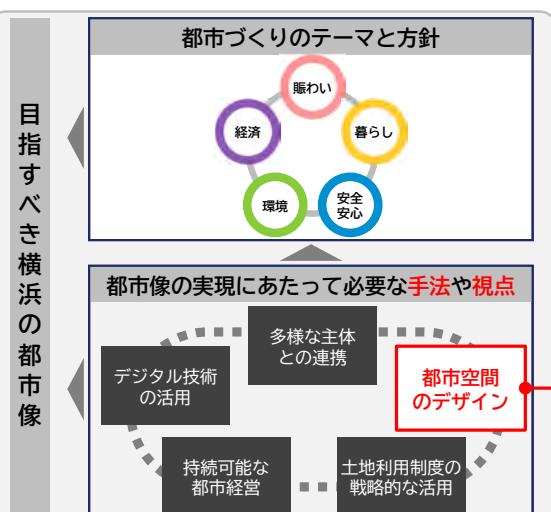
### 都市計画マスタープラン

都市計画に関する基本的な方針であるとともに、市民や企業などのまちづくりへの意欲的な参画を促し、協働でまちづくりを進めるためのツール

俯瞰 ↔ アイレベル

### 都市デザイン 7つの取組み姿勢

都市マスなどの俯瞰的な計画をふまえ、市民や企業などと共に都市空間や人々の活動も含めて横浜らしい風景づくりを具体的に進めるための取組み姿勢



1. 自然や歴史、地域の個性を未来に引き継ぐ
2. 個々人のあり方や、暮らしに寄り添う
3. 様々な主体や分野を横つなぎにして、まちの魅力を高める
4. 地域の主体性や創造性が發揮できるよう、環境を整える
5. 実験的な新しい取り組みを、積極的にすすめ、サポートする
6. エリアコンセプトを描き、共有する
7. 美しい、楽しいといった人の心を動かす都市をつくる

26

別添資料3

## スケジュール

明日をひらく都市  
OPEN × PIONEER  
YOKOHAMA

